

2026年 5月28日

総務大臣 林 芳正 殿

日本海ケーブルネットワーク株式会社
代表取締役社長 吉岡 徹

事後評価報告書（中間評価）

無線システム普及支援事業等補助金交付要綱補足事項の規定に基づき、下記のとおり報告します。

記

1. 事業概要

- (1) 工事完了日 : 令和5年2月28日
(2) サービス開始日 : 令和5年4月 1日

2. 目標達成状況（累計）

指 標	目 標 (目標年度)	(実績値/目標値)				
		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
家庭用 Wi-Fi の設置数	1,200 個 (令和9年度)	721/200	1,070/400	1,165/800	—/1,100	—/1,200

※欄が不足する場合は適宜追加

(参考)

提供可能回線数	利用回線数				
	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
5,401回線	807回線	1,686回線	1,738回線	—	—

3. 目標達成に向けて実施した取組

切替工事費無料、高速サービスについては、サービス開始から1年間の利用料割引キャンペーン、家庭用Wi-Fiルーターの無償提供などにより、光回線サービスへの加入促進と家庭内へのWi-Fi設置を実施。
集合住宅へのオーナー一括契約による全室Wi-Fi付きのプランを設け加入促進。

4. 評価

家庭用Wi-Fiの設置数：戸別訪問による営業活動・日本海新聞への広告掲載などの取組を実施した結果、家庭用Wi-Fiの設置数の目標については目標年度までにほぼ達成する見込み。

令和7年度末時点において、利用回線数は1,738回線で推移しており、提供可能回線数5,401回線に対する利用率は、32.2%になっている。

5. 課題への対応策（中間評価のみ）

- ・家庭用Wi-Fi機器の設置数及び利用回線数（利用率）について
 - ・SNS活用による情報発信 若年層・子育て世帯を中心に、SNS広告や地域コミュニティ向けアカウントを活用し、サービス内容やメリットを分かりやすく周知する。
 - ・地域イベントとの連携 地域行事や学校行事と連携し、Wi-Fi環境整備の必要性や利便性を紹介する機会を創出する。
- これらの取り組みにより、従来の手法では届きにくかった層への認知拡大を図り、家庭内Wi-Fi環境の普及促進をより効果的に進めていく。